



済生会  
だより

# ならしの

千葉県済生会習志野病院 院外広報誌

No.18 2011.春号



## Contents

- 産婦人科の紹介
- 助産師外来の紹介
- 第4回 医療連携フォーラム開催報告
- 栄養サポートチームの紹介

東北地方太平洋沖地震・長野県北部を震源とする地震により被害を受けられた皆様に心からお見舞いを申し上げます



## 今号の表紙

桜(ソメイヨシノ)の写真  
撮影：広報課

## 病院の理念

患者さんの権利を尊重し、共に考える良質な医療の提供、すなわち患者さん指向の医療をめざし、もって地域住民の健康と福祉の増進に努めます。

## 病院の基本方針

- ・職員が誇りを持ち、患者さんが満足・安心できる効率的な医療の提供に努めます。
- ・すべての診療情報を患者さんにお伝えます。
- ・信頼される医療を行うために研修、研鑽をいたします。
- ・地域の医療機関との連携のもとに中核病院としての役割を果たします。

# 産婦人科の紹介

診療部長（産婦人科） 佐藤 孝

## はじめに

産婦人科はお産を扱う産科と婦人科の病気を扱う婦人科に分けられます。

産科では正常妊娠から合併症をもつ妊娠、異常妊娠などを管理します。婦人科は子宮筋腫などの良性疾患から癌、更年期障害やホルモン異常、月経異常などの女性特有の疾患の診断、治療をおこないます。

当院の産婦人科では上記の産婦人科で扱われるものの大部分に対処しております。今回は婦人科の癌について簡単に説明させていただきます。

## 子宮頸癌

子宮の入口にできる癌です。

最近若年化が進んでおり20歳代の女性でも多くみられます。

### 症状

性交後の不正出血などです。性交渉によるHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因で、その持続感染後、数年から10数年かけて異型上皮を経て癌に進行します。

### 治療

手術が主体で早期のものは子宮を温存する手術も可能です。放射線療法や化学療法がおこなわれることもあります。1~2年毎の癌検診にて多くは異型上皮の段階で見つけることが可能です。

また、HPV感染予防ワクチンがあり、この接種により子宮頸癌の約7割を防ぐことが可能です。特に10~15歳の女性への接種が勧められています。



## 子宮体癌

子宮体部にできる癌です。

我国では増加しており、子宮癌全体の30~40%を占めるに至っています。

### 症状

不正出血、特に閉経後の出血は要注意です。多くは子宮内腔の内膜細胞診で見つけることができます。通常、子宮癌検診は子宮頸癌の細胞診が多く、それでは見つけることができません。症状のある方や心配な方は子宮内膜細胞診を受けられることをお勧めします。

### 治療

手術が主体で原則、子宮は全摘出し、再発の恐れがあったり、転移がある場合は化学療法などがおこなわれます。

## 卵巣癌

卵巣が腫瘍により腫大、腹腔内に散らばるように進展したり、転移を起こしやすい癌です。

### 症状

進行するまで殆ど症状はありません。卵巣癌としての決まった検診はなく、超音波検査やMRIなどの画像検査、血液による腫瘍マーカーなどで可能性を推定、最終的な診断は手術にて腫瘍を摘出しその病理診断で確定します。

### 治療

手術、早期のもの以外は化学療法が引き続いておこなわれます。



# 助産師外来の紹介

3階西病棟 師長 小山田 江津子



こんにちは!

3階西病棟・産婦人科外来の活動(助産師外来)を紹介します。

## 助産師外来とは .....

① 正常な妊娠経過をたどっている妊婦さんの妊婦健診(子宮底・腹囲の測定、胎児心拍聴取・胎児心拍のモニタリング、生活や食事指導、体重管理、悩み相談)  
産科外来に通院されている妊婦さんで、妊娠37週以降の方で、ご希望がある時(医師の許可がある時)、あるいは、祝日により、本来の日時に健診が受けられない場合に実施しています。

② 乳房外来(授乳期の乳腺炎・乳汁分泌を促進したいママの相談・断乳相談)

当日でも、助産師の時間調整が可能であれば、対応する事ができます。朝9時頃に3階西病棟に電話で確認をして下さい。他の施設で出産された方の対応も受け付けております。

③ 育児相談・児の体重測定

退院時に赤ちゃんの体重増加が少ない時、授乳が上手くできない時などに、数日後に来院して頂く事があります。



(両親学級の様子)



(妊婦健診)



(陣痛室)



(分娩室)

## 診察は予約制です .....

● 助産師が30分~60分の予約枠で行いますので、ゆっくり、相談・指導をさせていただきます。異常がある時、薬の処方が必要な時は医師に相談しながら、対応させていただきます。

● 費用

妊婦健診の金額は医師の診察と同額です。他の項目は3,000円です。

● 特徴

3階西病棟と産婦人科外来のスタッフは全員が助産師です。24時間体制で複数の助産師が妊産婦さんの対応をさせて頂いております。また、どういう出産をしたいか等の希望も取り入れ、できるだけ妊産婦さんやご家族の方々にとって心に残る体験となるよう、関わらせていただきたいとスタッフ一同心から思っております。



(3階西病棟スタッフ)

## 第4回 医療連携フォーラムを開催しました

平成23年2月24日(木)19:30より8階講堂にて開催いたしました。医療機関の先生方をはじめ、ご出席いただきました皆様、誠にありがとうございました。

フォーラムは林医長から外科の状況と医師の紹介をさせていただきました。続いて杉本克己医師より「当院外科における腹腔鏡手術の現状」を演題に手術中の動画、これまでの症例件数等について講演させていただきました。

講演に続いて当院8階レストランにて情報交換会を行いました。ご出席の先生方と当院医師が直接お会いして、お話しすることができた事や本フォーラムにご意見をいただいたこと等、大変良い機会となりました。

当院は医療連携体制の強化等を通じて、今後ますます信頼をいただける病院をめざし努力を重ねてまいります。



すのでよろしくお願いいたします。

次回は6月に消化器科を予定しております。詳細が決まり次第、お知らせいたします。

## 栄養サポートチームの紹介

### 『こんにちは！栄養の回診です』

～栄養サポートチーム (Nutrition Support Team) は今日も行く ㊦～

今回は栄養サポートチームの活動の一部を紹介いたします。

病院に入院される患者さんが「栄養障害」が多いという事を前回お伝えいたしました。食欲不振、口から食べる事が困難、床ずれなどのすでに低栄養が問題になっている患者さんたちに私たちは関わっています。

また手術をひかえている患者さんにも、手術前から関わるようにしています。手術は体にかかるストレスが大きく手術前の食欲不振、食物の通過障害を訴える場合が少なくありません。そこで手術前から嚥下しやすいよう食事内容を調整、また骨格筋、呼吸筋の増強目的や感染性の合併症の軽減効果を図るため手術前からの補助栄養食を使用させていただきようお話をしています。術前の栄養管理は、術後の合併症の対処、早期離床、経口摂

取、退院後もよい全身状態が維持できることにつながります。

栄養が不十分でも十分でも起こりうる栄養障害の期間をいかに短くし、原疾患の治療のサポートができるかが大切であることを実感している毎日です。



臨床栄養科 鈴木 裕子

### お知らせ

「済生会だより ならしの」が  
No11(2009年夏号)より病院ホームページからご覧になれます。

発行/千葉県済生会習志野病院

〒275-8580 千葉県習志野市泉町1-1-1 TEL 047-473-1281 (代) FAX 047-478-6601

ホームページ <http://www.chiba-saiseikai.com>